

【原康夫先生と物理学の会】

各位

昨年2月に筑波大学名誉教授・元副学長の原康夫先生がお亡くなりになって1年をすぎました。原康夫先生は、1962年、朝永振一郎教授がおられた東京教育大学の物理教室に着任され、以来、東京教育大学および筑波大学において物理学の研究と教育に邁進されました。研究は素粒子物理学の広範囲にわたり、とくにレジェ軌跡による高エネルギー素粒子反応の解析の基礎、および4番目のクォークの発見につながる素粒子の四元模型（仁科記念賞受賞）など歴史に残る研究成果を収められました。また、カルテック、シカゴ大学、プリンストン高等研究所等のアメリカ滞在中にはノーベル賞受賞者を含む多くの研究者との交流があり、国際的にもよく知られた研究者でした。

素粒子論研究の傍ら、物理教育にも強い関心を持ち、筑波大学の創設にあたっては、物理学の基礎教育のシステムの検討から始まり物理教育の改善、更に、筑波大学の副学長（教育担当）として大学、大学院の教育システムの構築にも大きく貢献されました。

また、物理学の研究・教育者としての実績と経験を生かして執筆した物理学の教科書は、理工系で広く使われており、更に、国内の物理教育の研究者・実践者との幅広い交流を通じ、教育分野でも大きな実績を遺されました。

この度、この様な原康夫先生の訃訃に触れ、指導を賜った教え子、あるいは親交があった友人・同僚の皆様が集い、ささやかではありますが、先生のご業績や思い出を語ると共に、故人を偲び、ご冥福を祈る、下記のような【原康夫先生と物理学の会】を企画いたしました。関係各位には、謹んでご案内させていただくとともに、ご出席いただければ幸甚に存じます。ご出席の可否につきましては、3月20日までに発起人事務局メールアドレス ytakaiwa.adhoc@gmail.com 宛にお知らせいただきたく宜しくお願いいたします。

なお、この会は物理（素粒子物理）を通じて原康夫先生との交流のあった方を中心に呼びかけしております。本来ならばお呼びすべきである先生が交流を持たれた多くの方々の情報が少なく、限定的にしかお知らせできていません。その点もご理解頂きたくよろしくお願いいたします。

2025年 3月4日：

発起人 (代表) 柴崎一郎 公益財団法人野口研究所・学術顧問
藤川和男 東京大学・名誉教授
高岩義信 高エネルギー加速器研究機構（史料室）協力研究員
平田光司 総合研究大学院大学・名誉教授
金谷和至 筑波大学宇宙史研究センター・特令教授
(アドバイザー) 見目正克 奈良女子大学・名誉教授

記

会の名称：原康夫先生と物理学の会（原先生を偲ぶお別れ会）

日時：2025年4月26日（土曜日）

12:00～14:30（受付：11:30）

場所：嘉の美 茗溪館（茗溪会館）

東京都文京区大塚 1-5-23（地下鉄茗荷谷駅より徒歩2分）

会費：11,000円 / お1人様

お支払いは事前（4月15日までをめぐに）に下記の口座にお名前を明記してお振込みをお願いします。

筑波銀行（131）二の宮出張所（071）普通口座 1043264

（口座名義：タカイワ ヨシノブ）

連絡・出欠のご返事またはお申し込み方法：

メールにて ytakaiwa.adhoc@gmail.com まで送信してください。

可能ならば3月20日までをお願いします。

同伴者がある場合は人数とお名前をお教えてください。

メールでの通知が難しい方は電話または郵便でも結構です。

305-0801 つくば市大穂1-1

高エネルギー加速器研究機構・史料室・高岩義信

TEL: 029-864-5100 FAX: 029-879

メッセージをお寄せください：

ご出席の可否に関わらず、近況の報告および／または原先生の思い出など、メッセージをお送りください。メッセージによる参加といたしましてまとめたものを作成し、参加関係各位に配布いたします。4月15日までをめぐにお送りくださるよう、よろしく申し上げます。

なお、当日は原先生のお嬢様（原夏代さま）とそのお嬢様（嶋田恵さま）のお二人がおいでになります。